

緊急事態宣言を踏まえた対応状況【県立学校】

◆ 「ぎふコロナガード」による感染防止対策の徹底について

- 全ての県立学校(83校)でコロナガード(管理職)を選任し、感染防止対策を徹底
 - ・ コロナガードは、教頭(副校長)が担当
 - ・ 複数課程(全・定・通)併置校や2校舎体制の学校等では、複数コロナガードを選任
- コロナガードは、クラス担任・部顧問・舎監を指揮し、感染防止対策やコロナハラスメント防止を徹底
 - ・ コロナガードは、毎日、校内を巡回し、校内環境、授業や部活動等の状況確認
 - ・ クラス担任・部顧問・舎監は、チェックリストに基づき感染防止対策の実施状況を確認、コロナガードに報告
 - ・ 教科担任や部活動指導者(外部からの指導員を含む)、炊事員等は、当該授業や部活動、寮・寄宿舍での実施状況を、クラス担任や部顧問、舎監と情報共有
 - ・ コロナガードは、学校医等からの指導助言をもとに、全教職員に情報共有、課題を点検し、速やかに対応改善

◆ オンラインでの学習支援等について

- 全ての県立学校(83校)で、オンラインを活用した学習支援を実施

【取組例】

- ・ 3年生に対して、学校での対面授業を自宅に配信
- ・ コロナ陽性者(生徒)や同居家族陽性に伴う濃厚接触者(生徒)に対して、学校での対面授業を自宅に配信
- ・ 学校におけるコロナ陽性者判明に伴う臨時休業や学校での集団PCR検査による自宅待機期間中に、学校からオンライン授業を配信
- ・ 3年生の自宅学習期間中(2月初旬から)における、進路状況に応じた個別指導
- ・ コロナ不安に対する個別相談

- 大学入試対策(面接や小論文指導)、年度末の学習成果発表会や各種集会等にも活用

【取組例】

- ・ 進路ガイダンス【24校】
- ・ 大学入試対策(面接指導・小論文指導等)【19校】
- ・ 資格試験対策【3校】
- ・ 卒業制作実践発表会・課題研究発表会等【19校】
- ・ 集会(全校集会・学年集会等)【25校】 (1/18現在)

◆ 時差登校について(県立高校)

- 公共交通機関の利用者が集中する学校で、運行状況も踏まえて実施

地区(県立高校数)	岐阜(19校)	西濃(12校)	美濃(5校)	可茂(7校)	東濃(14校)	飛騨(6校)
実施校数(予定を含む)	9校	5校	—	6校	4校	—

【取組例】

- ・ 学校全体で始業時間を15分から30分繰下げ
- ・ 学年別や出身中学校別に登校時間を15分程度ずらす

◆ 部活動について

- 全ての学校において、**【健康チェックカード】による健康状態の確認****【感染リスクが高い活動の回避】****【活動時間や活動場所の限定】****【飲食時等の感染防止対策】****【部室利用時の感染防止対策】**を徹底

【取組例】

- ・ 担任が放課後前のSHRで、部活動参加生徒の健康状態を「健康チェックカード」により確認、体調に異常がある生徒は帰宅させるとともに部顧問等に報告
- ・ 運動系部活動では、できるだけ屋外で、基礎トレーニング(ストレッチ、腹筋、ランニング、縄跳び等)や種目別の基礎練習(素振り、パス・サーブ・シュート練習等)を中心にマスク着用で実施
- ・ 文化系部活動では、室内の換気を徹底し、少人数で生徒の間隔を空け、マスク着用で実施
共用品の使用後は、手洗いや手指消毒を徹底
- ・ 活動中のミーティングや休憩時にやむを得ず会話をする場合は、マスク着用を徹底
- ・ 校内や体育館・グラウンドのトイレ出口に手指消毒液を設置し、利用後の消毒を徹底
- ・ 部室利用は、使用人数を決めて入れ替わりで更衣、マスク着用と換気を徹底

◆ 寮・寄宿舍について

- 寮や寄宿舍を設置する全ての学校(12校)において、共同生活における感染防止対策を徹底

【取組例】

- ・ 利用生徒全員に対して、共同生活における感染防止対策を、舎監から改めて説明・徹底
- ・ 共同生活において感染リスクの高い場所や箇所(居室、食堂、脱衣場、洗濯機・乾燥機等の共用機器)に、マスク着用や手指消毒などを徹底するためのステッカーやポスター等を掲示し注意喚起。食堂では、対面とならないよう着座指定

緊急事態宣言を踏まえた対応状況【私立学校】

◆ 「ぎふコロナガード」による感染防止対策の徹底について

- 全ての私立学校（31校）でコロナガード（管理職）を選任し、感染防止対策を徹底
 - ・ コロナガードは主に教頭（副校長）が担当
- コロナガードによる感染防止対策の実施状況の確認・徹底
 - ・ コロナガードは、感染防止対策、コロナハラスメント防止の全教員への周知を徹底
 - ・ コロナガードは、毎日校内を巡回し、校内環境、授業や部活動の状況を確認するとともに、学校医等からの指導助言をもとに、コロナガードが事案を、全教職員に共有し、重点的に点検
 - ・ 教員は、昼食時には巡回指導を実施し、指導事例があればコロナガードに報告
 - ・ 部活動顧問からの相談、報告もコロナガードが集約して記録、校長へ報告

◆ オンラインでの学習支援等について

- 私立学校11校でオンライン授業を実施
 - ※6月補正予算により、高校14校8,153台のタブレット端末について交付決定

【取組例】

- ・ 発熱等体調不良や濃厚接触のため自宅待機となった生徒を対象に、随時学校の授業をオンラインで配信
- ・ 臨時休業期間中は学習機会の確保のため双方向のオンライン授業を実施
- ・ オンラインでの授業配信と対面授業を併用

- 大学入試対策、個別面談や各種集会等にも活用

【取組例】

- ・ 個別面談・個別連絡【9校】
- ・ 進路ガイダンス【5校】
- ・ 大学入試対策【4校】
- ・ 卒業制作発表・課題研究発表【5校】
- ・ 集会（全校集会・学年集会）【18校】

◆ 時差登校について

- 一部学校において検討・実施（※通信制高校を除く）

地区（私立学校数）	岐阜(13校)	西濃(2校)	美濃(0校)	可茂(5校)	東濃(5校)	飛騨(1校)
実施校数 (検討中含む)	1校	1校	—	2校	2校	0校

【取組例】

- ・ 登校時間を40分繰り下げ、10分短縮授業を実施

◆ 部活動について

- 部活動を行っている全ての学校（27校）において、【「健康チェックカード」による健康状態の確認】【感染リスクが高い活動の回避】【活動時間や活動場所の限定】【飲食時等の感染防止対策】【部室利用時の感染防止対策】を徹底

【取組例】

- ・ 2月7日まですべての部活動の活動を停止
- ・ 県内外を問わず練習試合や合宿を禁止、活動は校内施設のみに限定、「健康チェックカード」による体調管理の徹底等を各部顧問が実施
- ・ ミーティング時等にマスク着用を徹底
- ・ 活動終了後の生徒同士による食事等を控えるよう指導を徹底
- ・ 卒業生、保護者等の外部訪問者へ「健康チェックカード」による体調管理を徹底

◆ 寮について

- 全ての寮設置校（13校）において、共同生活における感染防止対策を徹底

【取組例】

- ・ 手指の消毒、マスクの着用等の感染防止対策を徹底することを部活動顧問、寮監を通じて入寮者に指導
- ・ 一人に一つ消毒用のスプレーボトルを所持させ、こまめな手指消毒を指導（内容物の補充は学校で実施）
- ・ 食堂内のパーティション設置
- ・ 居室に入居者以外の者は入室させないことを徹底
- ・ 食堂での配席間隔の確保や時間差での喫食、対面での喫食回避の徹底
- ・ 食堂や入浴をグループに分けて時間差で実施
- ・ 実家からの帰寮時の体調管理の徹底

環境生活部の対応

寮生が多く、部活動が活発な私立学校の特徴を踏まえ

- クラスター事案について課題共有と対策を徹底するためのケーススタディを実施
- 全ての寮設置校（13校）に対し、感染防止対策等について巡回現地確認を実施